

人間環境学部 主要科目の特長、科目群ごとの目標等

学部基幹科目

本学部において、私たちが“人間環境”をどのように捉えようとしているかを示すために学部基幹科目を置く。学部基幹科目は「人間環境論入門」「人間と倫理」「人間と自然」「人間と文化」「人間と社会」の5科目で構成される。

まず、「人間環境論入門」では“人間”と“人間と環境との関わり”について問題を提示する。これは、われわれの人間環境に対する基本的な認識方法を示すものである。1年次の必修科目として配置され、この科目を通じて、本学部では何を基本的に学ぶかを明確にしていく。

さらに「人間と倫理」「人間と自然」「人間と文化」「人間と社会」に分けて人間環境を考えるための素材を提供する。ここでは、人間環境に対して、人文、社会、自然の諸科学からどのような問題提起ができるか試みる。

共通科目

主要科目の特長

「教養ゼミナール」

学科別に少人数（10名程度）クラスで専任教員の指導のもと、基礎的な文献の扱い、日本語の文章能力、レポートの書き方、プレゼンテーション能力など、大学での修学に必要な基礎的スキルおよび姿勢を身につける。

「コンピュータ・リテラシー」

実際にコンピュータを操作しながら、4年間の大学生活に必要なコンピュータ・リテラシーを養成する。電子メールの利用、インターネットを利用したの情報検索、文書作成能力、表計算活用能力および関連する基礎知識、マナーを身につける。

科目群ごとの目標等

〔教養・総合分野〕

「教養ゼミナール」「キリスト教分野」「人文分野」「社会分野」「自然分野」「生活芸術分野」「キャリアデザイン分野」で編成される。「教養ゼミナール」では少人数クラス（10人程度）で専任教員の指導のもと、大学での修学に必要な基礎的スキルおよび姿勢を身につける。「キリスト教分野」では、キリスト教の歴史や文化を学ぶとともに、本学院の基盤である「建学の精神」について理解を深める。「人文分野」「社会分野」「自然分野」では幅広くかつ深い教養や総合的な判断力を培い、「生活芸術分野」では日本の伝統文化や芸術を体験する。「キャリアデザイン分野」では在学中から卒業後を見据えたキャリア設計をおこなう就職活動にも必要となる社会人としてのスキルを身につける。

〔コンピュータ・リテラシー分野〕

今日の情報社会では欠かせない基礎的な情報処理技術やネットワーク社会でのルールとマナーを修得する。

〔外国語分野〕

実践英語を中心とした科目を開設するとともに、学生の興味にあわせドイツ語、フランス語、中国語、ハングルを選択履修できるよう配慮している。英語は、コミュニケーション（会話）を中心に、聞く能力、話す能力など、分野別に6段階のレベル構成となっており、無理なくステップアップしながら実力を身につけることができる。

〔保健体育分野〕

健康は自らの努力により積極的に創り出すものと考え、生涯にわたって健やかな身体を保持し、健康で豊かに生きるためにどうすればよいのかを考え、実践する。

現代コミュニケーション学科専門科目

主要科目の特長

「ビジネス・コミュニケーション」

ビジネスの基礎として経営や組織、会社を取り巻く社会との関係をコミュニケーションという視点から学ぶ。また、実例を通してビジネスの仕組みも理解する。本科目は4名の教員によるオムニバス形式で行われる。

「メディア・コミュニケーション」

コミュニケーションの変化をメディアの変遷の軸と歴史の時間軸、さらに国際文化との比較を軸にして捉える。具体的には、電子メディア、映像メディア、江戸時代のメディア、更にはメディア・リテラシーについても考察する。本科目は3名の教員によるオムニバス形式で行われる。

「国際コミュニケーション」

人間のコミュニケーション過程の原理を究明し、異文化間での相互理解を効果的に行い得るコンピテンス（能力）確立への道を学習する。

本科目は3名の教員によるオムニバス形式で行われる。

「コミュニケーションの心理」

人間社会におけるコミュニケーションの役割と重要性を認識し、さらに、その機能と効果および文化との関連性について理解を深める。

科目群ごとの目標等

〔メディア・コミュニケーション分野〕

企業人として必要なビジネスの理解とその運用に関する知識を学びつつ、PCをはじめとする情報コミュニケーションツールの利用、効果的なコンテンツ作成などの力を身につけ、企業やその他の組織において情報発信する場面での活躍を目指す。

〔国際コミュニケーション分野〕

外国の文化、思想、生活等の理解、言語によるコミュニケーション能力の育成を目指した科目を編成している。実際に異文化をその国で体験する科目も設置し、企業、国際機関、NGO 等において国際的場面での活躍を支援する。

〔総合分野〕

2年～4年にかけてゼミナールが設置されている。3年間、教員あるいは学生同士の交流を通じて、知識やスキルのみならず社会の中の個人という視点から、人間としての成長を図り、考える力、判断する力を育成する。

人間環境デザイン学科専門科目

主要科目の特長

「人間環境デザイン論」

社会的にも環境的にもより良い人間環境を構築するためには多様な視点からの環境への理解が不可欠である。そのため、この科目では学科内の各々専門の異なる教員11名による講義を通して、人間環境をデザインすることの多様な考え方・方策について理解する。

「環境の倫理」

環境倫理の概観を得、環境倫理をひろく環境思想のなかに位置づけることをねらいする。環境問題を社会の問題、人間の問題として捉え、環境問題が突きつけている人間への問いに倫理がどこまで答えているのかも考える。なお、具体的な問題についてグループに分かれて討論もおこなう。

「ライフデザイン論」

長短様々なタイムスパンで経験される社会生活の場面をライフ (Life) の意味するところと捉え、時間、空間、関係、労働、ジェンダーをキーワードに現代日本の生活体験に注目する。この科目では、特に社会学の視点を導入することにより個人生活と社会との間の相互作用に注目し、個人がいかに社会をデザインする主体になり得るか、また、社会は個人がいかに作用しているのか考察する。

「居住と環境」

人間が住生活を営むに際して、自然や社会と様々なところで係わり合いを持つ。その係わりの有様を広く見てゆく中で、より良い生活のために我々が何をなすべきか考えていく。住環境を人間の五感で捉え、日本におけるその特性を学ぶ。また、住居を取り巻く水、直物、外部空間について、居住空間と家族について、更には地球環境保全の中で居住環境の果たすべき役割についても学ぶ。

「生活と環境科学」

身近な生活にかかわる環境問題が地球規模にまで波及する現状を科学的視点から多角的に捉え、今後の環境対策・改善のための具体的方策について理解する。この科目は環境保全分野の基幹科目として位置づけられ、2名の教員により講義がおこなわれる。

科目群ごとの目標等

〔生活デザイン分野〕

人間の生活環境を社会的、文化的、歴史的観点から考察し理解を深めることをねらいとしている。そのため、人間の全ての所産を扱う博物館、美術館の学芸員課程と関連が深い。

〔居住環境デザイン分野〕

物理的、空間的な環境設計の専門家や居住環境に能動的に取り組む人材育成を目標としたカリキュラム構成をとっている。このため、各種資格にも直接結びついており、特に、二級建築士、インテリアプランナーを目指す学生のための“住居コース”をおいている。

〔環境保全デザイン分野〕

地球環境を構成する要素のうち、大気、水に関する環境管理に加え、産業廃棄物・ゴミに関する科目をバランスよく配置している。総論としての環境論のほかに環境政策や環境マネジメント関連科目をおき、具体的な環境保全に対する取り組みを学ぶ。

〔総合分野〕

学生の社会的拡張性、適合性、また自立性の育成を図ることを目的としている。この分野では、自己の関心と問題意識を明らかにし、自主的に問題設定をおこない、その解決に向かうアプローチの選択と実現可能な解の発見、創造することを学生に求めている。

健康栄養学科専門科目

主要科目の特長

「食生活論」

食生活の多面性について理解を深め、健康・栄養・食物に関する専門教科を学ぶ基礎を作る授業である。日本の食生活の歴史・文化、食育、公衆栄養等の側面から、日本人の食の性質について理解するほか、食品や食物を文化的に捉え、人間生活における食文化・食生活の意義を問い直す。本科目は3名の教員によるオムニバス形式で行われる。

「食環境論」

われわれの周りには多くの食品が存在する。豊かで健康な食生活を営むためには、生産から消費まで食品をどのように評価し利用するかを考えることは重要なことである。本科目は専門科目を学ぶ導入部分として、4名の担当教員がオムニバス形式により、それぞれの専門分野から食環境に関する今日的な問題点を取り上げ、基礎的な説明と食環境に及ぼす影響を総合的に解説する。

「健康と栄養」

健康の保持・増進のためには、適切な栄養が不可欠である。本科目は、4年間で学ぶ健康栄養学科専門科目の入門編のひとつとして「健康と栄養」に関する話題を幅広い観点から学習する。本科目は4名の教員によるオムニバス形式で行われる。

科目群ごとの目標等

〔栄養関連専門基礎分野〕

基礎理科の科目群を配し自然系の専門科目を学ぶために必要な基礎学力を養う。また、社会・環境と健康の科目群、人体の構造と機能及び疾病の成り立ちに関する科目群を配し、それぞれの関連を学ぶ。さらに、食べ物と健康に関する科目群を配し食品そのものの理解に加え食品の調理・加工について学び食品を多面的に理解する。また、この分野では食品の官能評価と鑑別、食品とバイオテクノロジーの関連、食品の機能性等、食品に関して総合的に学ぶ。

〔栄養関連専門分野〕

基礎および応用栄養、栄養教育、臨床栄養、公衆栄養、給食経営管理、総合演習、臨地実習等の科目群を配し、栄養に関する専門家として、栄養の改善、健康の保持増進、食事栄養面からの療養等に関する深い知識と実践する能力を育成する。

〔学科関連分野〕

社会環境、自然環境を含めた人間環境に関する科目群を配し、食を中心とした環境をより広い人間環境の視座から捉える。

〔総合分野〕

学問的な場で諸問題を深化させるための「ゼミナール」「卒業研究」等を配している。これらの科目を通して各自の学問的興味や問題意識をもとに主体的・総合的に学ぶ。

〔栄養教諭分野〕

栄養に関する専門性と教育に関する資質を併せ持つ栄養教諭を目指す。「栄養教諭論(総論)」、「栄養教諭論(指導法)」の2科目を配し、学校教育における栄養教諭の使命、役割について学ぶ。

人間発達学科専門科目

主要科目の特長

「人間発達論」

人間の発達のメカニズムを健康・福祉関連分野、教育関連分野、心理関連分野から捉え、生涯を通じて健全に発達するための環境のあり方や生き生きとした人生を送るための支援に関する知識を具体的に学ぶ。本科目は各専門分野の教員によるオムニバス形式で行われる。

「キリスト教保育論」

保育の基礎となる人間観・児童観をキリスト教を通して学ぶ。キリスト教は古来より、教育、特に幼児や子どもの教育・保育に大きな関心を寄せ、大きな影響を与えてきた。子どもたちの教育・保育をめぐる状況が大きく変わりつつある現在、キリスト教が果たしてきた役割をふり返りつつ、キリスト教保育の現代的意義についても考察する。

「子育て支援総論」

わが国は少子化が著しく進行し、様々な子育て支援政策が行われつつある。そうした中で、子育て支援とは何を目的とし、どのような内容・方法で行われているのか、また子育て支援を担う人に求められるものは何かなど、具体的な取り組みをしながら総合的に学

科目群ごとの目標等

〔教育保育分野〕

教員ないし保育士として現場で活躍する際に必要な知識と技術とを獲得・向上させるための科目が配置されている。例えば、教育や保育の本質やその原理について理解を深めることを目標とした「教育原理」「保育原理」などの科目群、教育・保育各領域内容についての基礎から発展までの知識と技術の獲得を目標とした「国語」「算数」「音楽Ⅰ」「体育」などの科目群、各領域内容のよりよい教育法・指導法についての理解を深めるとともに実際の力の向上を目標とした「初等教科教育法」「保育内容指導法」などの科目群がある。

〔心理分野〕

人間の实像や人間を取り巻く諸問題に関して、心の側面から理解し考える能力を高めるための科目が配置されている。例えば、人間の心理についての基礎的な知識と観点とを養うことを目標とした「心理学の基礎Ⅰ・Ⅱ」などの科目群、育ちゆく人間について教育や保育の観点から心理的側面から理解し効果的に関わる力を涵養することを目標とした「教育心理学」「発達心理学」などの科目群、人間が直面する心理的問題や心の病の捉え方や、支援・治療する具体的な方法について理解を深めることを目標とした「臨床心理学」「精神保健」などの科目群がある。

〔健康・福祉分野〕

一人ひとりの人間が健康で幸せな生活を実現するための理論と実践を学ぶ科目が配置されている。例えば、福祉の理念や基本的な原理について理解を深めることを目標とした「社会福祉」「社会的養護」などの科目群、成長過程にある子どもの福祉的な課題に関する問題意識を高め、支援の在り方について理解することを目標とした「児童家庭福祉」「子どもの保健」などの科目群、福祉実践について理解し、具体的な技術を獲得することを目的とした「保育相談支援」「障害者援助技術演習」などの科目群がある。

〔総合分野〕

教育者・保育者として幅広い観点から問題を見つめ、それらに実践的に関わるための力を養う科目を配置している。フィールド（現場）に関わりながら、実践的な力を養うとともに現代的な課題を発見していこうとする「フィールドワーク（幼児理解）」や、教員や保育士になる自分自身を見つめ、その能力と課題とを確認し、将来に向けての視野を確かなものにしていくための「教職実践演習（幼・小）」などの科目が配置されている。さらに、専門性のさらなる深化を目的とした「ゼミナール」「卒業研究」等の科目も配置されている。

〔実習分野〕

大学内での学びを教育・保育現場で確認・発展させるとともに、小学校教員、幼稚園教員、保育士としての実践力と応用力とを高めるために「教育実習指導（Ⅰ～Ⅲ）」「教育実

習（Ⅰ～Ⅲ）」「保育実習指導（Ⅰ～Ⅲ）」「保育実習（Ⅰ～Ⅲ）」が配置されている。なお、「教育実習指導」「保育実習指導」では実習前の事前指導として教員・保育者として必要な能力と態度について確認すること、事後指導では実習を振り返り、現場での学びと自身の課題についての理解を深めようとしている。

現代コミュニケーション学科 履修順序表 【* : 2017年度新設 — : 廃止 ■ : 科目名称変更】

1年次		2年次		3年次		4年次	
1 Semester	2 Semester	3 Semester	4 Semester	5 Semester	6 Semester	7 Semester	8 Semester
<学部基幹科目> (2単位必修)							
人間環境論入門				(2単位以上) 人間と倫理 人間と自然 人間と文化 人間と社会			
<学科基幹科目> (4単位以上)							
ビジネス・コミュニケーション メディア・コミュニケーション 国際コミュニケーション 社会心理学							
<メディア・コミュニケーション分野> (6単位以上)							
統計の基礎 I							
ビジネス心理基礎		ビジネス・キャリア基礎					
言語・身体・メディア・コミュニケーション							
社会情報論		ビジネス・マゼジメント					
ネット・コミュニケーション		音楽情報処理		ビジネス・キャリア演習 I			
心理学の理解		CG制作演習		データ分析			
メディアの歴史		広告とジャーナリズム		人間関係の心理学			
		言語・身体・映像表現実習		マス・コミュニケーション		ビジネス・キャリア演習 II	
		メディア・広告・イベント基礎		プログラミング基礎		組織行動の心理学	
		地域メディア・コミュニケーション		企業と人材		マクロ・ロギング	
		映像論		金融論		プログラミング応用	
		写真表現		マーケティング		集団行動の心理学	
		日本語表現(書き方)		e-コマース		産業心理学	
		アウンス・プレゼン技術		映像論		ビジネス関連法規	
		デジタル写真		活用メディア論		ベンチャー・ビジネス論	
		電子書籍制作基礎		放送メディア論		経営情報システム論	
		映像コミュニケーション		インターネット・ロギング		インターネットと広告	
				Webデザイン		ビジネス・プレゼンテーション	
						こどもビジネス概論	
						プロデューサー・ディレクター論	
						映像作家論	
						編集実務	
						こどもビジネス実習	
						情報セキュリティ	
						財務管理論	
						人間関係づくり	
						演習	
						人的資源論	
						起業論	
						企業分析	
						統計シミュレーション	
<国際コミュニケーション分野> (6単位以上)							
英文読解演習							
アカデミック・リスニング I		アカデミック・リスニング II					
パブリック・スピーキング I		パブリック・スピーキング II		英文講読 I			
エレメンタリー・ライティング I		エレメンタリー・ライティング II		世界事情ディスカッション I		英文講読 II	
英語音声学		ビジネスの英語分析 II		ビジネス・イングリッシュ I		世界事情ディスカッション II	
ビジネスの英語分析 I		オラル・エクスプレッション I		インターネット英語		ビジネス・イングリッシュ II	
国際ボランティア		言語学入門		ディスコース・アナリシス I		メディア報道分析	
		アメリカの生活と文化		英文ライティング I		TOEICスキズ I	
		中国圏の生活と文化		オラル・エクスプレッション II		オラル・エクスプレッション IV	
		地域研究		実芸社会学		日本の地域文化	
		国際関係論		平和学		ホテル事業	
				地域研究実習		観光事業	
						観光実務	
						貿易実務	
						ジャーナリズム論	
						映画で学ぶ	
						アメリカ文化	
						フランス事情	
<総合分野>							
基礎セミナー		セミナー I		セミナー II		セミナー III セミナー IV	

人間環境デザイン学科 履修順序表 (2010年度以降入学生用)

【* : 2017年度新設 — : 廃止 : 科目名称変更】

1年次		2年次		3年次		4年次	
1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
<学部基幹科目> (2単位必修)							
人間環境論入門				(2単位以上)			
				人間と倫理		人間と自然	
				人間と文化		人間と社会	
<学科基幹科目> (2単位必修)							
共生デザイン入門							
(2単位以上)							
居住と環境							
エコノミクスデザイン		環境の倫理 ライフデザイン論					
<生活デザイン分野> (8単位以上)							
社会生活学入門							
消費者心理とマーケティング		都市生活デザイン論					
近代生活文化史		デザインの心理		社会調査法		社会生活デザイン演習	
衣生活と環境		デザインの歴史		生活環境と企業		暮らしのなかの	
ファッションから見た美術史		生活と経済		消費社会のデザイン		伝統と現代	
都市居住と生活デザイン		都市居住と生活デザイン		若者文化論		アートと社会	
				衣の生活文化史		色彩デザイン学	
				写真映像史		モダンアートの歴史	
						食の生活文化史	
<居住環境デザイン分野> (8単位以上)							
住まいのデザイン							
基礎デザイン演習		インテリアのデザイン		環境と心理		エコノミクスデザイン	
空間・インテリアデザイン		空間・インテリアデザインI		材料と構法のデザイン		デザインのための心理調査	
演習基礎		CAD I		力とかたち		エコノミクスデザイン演習	
		居住環境の共生デザイン		インテリアの環境デザイン		居住環境の法規	
				空間・インテリアデザイン		空間・インテリアデザイン	
				演習II		演習III	
		CAD II		3DCG演習		演習IV	
		地域遺産マネジメント		住まいの生活文化史		演習V	
				照明のデザイン			
				インテリアコーディネート			
						施工と積算の技術	
<環境保全デザイン分野> (環境実験以外から6単位以上) (環境実験以外)							
自然共生社会論							
大気・水・土壌の環境保全		大気と環境		洗浄と環境		生活環境と政策	
		自然共生デザイン論		繊維と環境		環境マネジメント演習	
		ハ・イオマスとエコロジー		生活環境と法		NPOの実践	
				環境アセスメント		共生の経済	
				ソーシャルビジネス		リサイクルデザイン論	
				サステイナブルデザイン			
				環境マネジメント		環境政策と課題	
				新エネルギー企画論			
				エコビジネス			
(環境実験から2単位以上) (環境実験)							
環境実験(繊維・染色)							
		環境実験(環境影響評価)					
		環境実験(水)					
		環境プロダクト実験演習					
		環境実験(洗浄)					
<総合分野> (4単位必修)							
フィールドスタディ (集中)				ゼミナール I		ゼミナール II	
		環境・コミュニティデザイン論		環境・コミュニティデザイン演習		プレゼンテーションの技術	
		視覚伝達デザイン演習		デザイン演習			
		デザイン演習		デザイン演習		ゼミナール III	
		デザイン演習		デザイン演習		卒業研究 I	
		デザイン演習		デザイン演習		卒業研究 II	

健康栄養学科 履修順序表

【* : 2016年度新設

— : 廃止

■ : 科目名称変更】

1年次		2年次		3年次		4年次	
1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
<学部基幹科目> (2単位必修)							
人間環境論入門				(2単位以上)			
				人間と倫理		人間と自然	
				人間と文化		人間と社会	
<学科基幹科目> (4単位以上)							
食生活論 食環境論 健康と栄養							
<栄養関連専門基礎分野> (基礎理科)							
基礎生物学 基礎化学 有機化学 基礎化学実験				<社会・環境と健康> (6単位以上)			
				社会福祉概論 公衆衛生学Ⅰ 健康管理概論 (医薬概論含む)		食介護論 公衆衛生学Ⅱ 栄養情報処理 栄養統計学	
				看護・介護論 健康運動指導		マーケティング論	
(人体の構造と機能・疾病の成り立ち) (6単位以上)							
生化学Ⅰ							
解剖生理学Ⅰ 解剖生理学実験Ⅰ 生化学実験Ⅰ		解剖生理学Ⅱ 解剖生理学実験Ⅱ 生化学実験Ⅱ 微生物学		病理学			
						運動生理学	
						生化学Ⅱ	
(食べ物と健康) (6単位以上)							
食品学Ⅰ 調理学Ⅰ 調理学実習Ⅰ		食品学Ⅱ 食品学実験Ⅰ 食品衛生学実験 調理学Ⅱ 調理学実習Ⅱ		食品学Ⅲ 食品学実験Ⅱ 食品衛生学 調理学実験		食品加工学	
						食品加工学実習	
						食品の官能評価・鑑別Ⅰ 食品機能論 フード・システム論 フード・コネクティブ論	
						食品の官能評価・鑑別Ⅱ 食品とバイテクノロジー バイテクノロジー実験	
<栄養関連専門分野> (12単位以上) (基礎および応用栄養)							
基礎栄養学Ⅰ 応用栄養学Ⅰ		基礎栄養学Ⅱ		栄養学実験 応用栄養学Ⅱ		栄養学実習	
						応用栄養学Ⅲ	
(栄養教育)							
栄養教育論Ⅰ		栄養教育論Ⅱ		栄養教育論Ⅲ 栄養教育実習Ⅰ		栄養教育実習Ⅱ	
						カウンセリング論	
(臨床栄養)							
臨床栄養学概論Ⅰ		臨床栄養学概論Ⅱ		臨床栄養学Ⅰ		臨床栄養学Ⅱ	
				臨床栄養学実習Ⅰ		臨床栄養学実習Ⅱ	
(公衆栄養)							
				公衆栄養学Ⅰ		公衆栄養学Ⅱ	
						公衆栄養学実習	
						栄養と疫学	
(給食経営管理)							
食事計画の基礎		給食計画論 給食経営管理		給食管理実習		フードサービス論 フード・マテリアル論 フード・マテリアル演習	
						フード・マテリアル演習	
(総合演習)							
		総合演習Ⅰ		総合演習Ⅱ		総合演習Ⅲ	
						総合演習Ⅳ	
(臨地実習)							
		臨地実習Ⅰ(集中)		臨地実習Ⅱ(集中)			
<学科関連分野>							
大気・水・土壌 の環境保全		ライフデザイン論 自然共生デザイン論		環境と心理 洗浄と環境 環境アセスメント 環境マネジメント		共生の経済 リサイクルデザイン論	
<総合分野><栄養教諭分野>							
学校栄養教育の理論と方法		ゼミナールⅠ 食育指導の理論と方法		ゼミナールⅡ 栄養実務英語		卒業研究	

人間発達学科 履修順序表(2011年度以降入学生用)

【*：2016年度新設 ー：廃止 〇：科目名称変更】

1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
1 セメスター	2 セメスター	3 セメスター	4 セメスター	5 セメスター	6 セメスター	7 セメスター	8 セメスター
<学部基幹科目> (2単位必修)							
人間環境論入門		(2単位以上)					
				人間と倫理 人間と文化		人間と自然 人間と社会	
<学科基幹科目> (4単位以上)							
人間発達論							
キリスト教と教育		子育て支援総論					
<教育・保育分野> (4単位以上)							
教育原理							
保育内容総論							
音楽 I							
器楽アンサンブル		保育原理					
国語		ピアノ					
理科		教育学					
音楽 II		保育内容指導演法・健康 I		ピアノ			
造形		保育内容指導演法・表現 I		教育行政学			
家庭		人間関係 I		教育の歴史			
		保育内容指導演法・表現 I		子育て学			
		乳児保育		保育者論			
		道徳の指導演法		カリキュラム論			
		教育方法論		保育内容指導演法・環境 I			
		社会		保育内容指導演法・言葉 I			
		算数		社会的養護内容			
		理科実験		障害児保育			
				保育内容指導演法・健康 II		生涯学習論	
				人間関係 II		教育職員論	
				保育内容指導演法・健康 II		保育方法論	
				造形表現演習		保育内容指導演法・環境 II	
				生徒・進路指導演論		保育内容指導演法・言葉 II	
				初等教科教育法(社会)		保育内容指導演法・表現 II	
				初等教科教育法(算数)		音楽表現演習	
				初等教科教育法(音楽)		特別活動の指導演法	
				初等教科教育法(家庭)		初等教科教育法(国語)	
				生活		初等教科教育法(理科)	
				体育		初等教科教育法(生活)	
				リトミック		初等教科教育法(図画工作)	
						初等教科教育法(体育)	
						児童文学	
						音楽	
<心理分野> (8単位以上)							
教育心理学							
発達心理学							
心理学の基礎 I							
心理学の基礎 II							
心理学研究法							
心理統計学		心理学基礎実験					
認知心理学		言語心理学					
臨床心理学		乳幼児発達心理学					
		精神保健					
		社会心理学					
		心理学実験実習 I					
		保育相談					
		臨床心理学実習					
		カウンセリング概論					
		神経心理学					
		家族心理学					
		教育相談					
		教育心理学演習					
		心理学実験実習 II					
		カウンセリング演習					
		障害児心理学					
		人間関係演習					
<健康・福祉分野> (6単位以上)							
社会福祉							
児童家庭福祉 I							
児童家庭福祉 II							
子どもの保健 I-1		社会的養護 I					
子どもの食と栄養		子どもの保健 I-2					
		子どもの保健 II					
		相談援助					
		社会的養護 II					
		障害者援助技術演習					
		保育相談支援					
		家庭支援論					
<総合分野>							
体育講義 (秋学期後半)				ゼミナール I		ゼミナール II	
						フューチャー(幼児理解) 教職実践演習(幼・小)	
						キャリア・イノベーション	
						演習	
						卒業研究	
<実習分野>							
教育実習指導 I		保育実習指導 I		教育実習指導 II (幼稚園)		教育実習指導 III (小学校)	
教育実習 I		保育実習 I		教育実習指導 III		教育実習 III (小学校)	
						教育実習 II (幼稚園)	
						保育実習指導 II	
						保育実習 II	
						保育実習 III	